

令和5年度 インクルーシブ教育推進課 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	職員の意識啓発等を行うことにより、公務外の不祥事を未然防止する。	<p>【目標の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各職員の法令遵守の意識の醸成・向上を図ることができた。 <p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場研修で当課の不祥事ゼロプログラム等を使って教育公務員として高い法令遵守の意識が求められていることを伝え、職員の法令遵守の醸成・向上を図った。 教育公務員として公務内外を問わず法令遵守の意識が求められる旨を申し添えて、懲戒処分や職員逮捕に関して発出される綱紀保持通知を、庁内メールで各職員に送信するとともに、同日の朝礼でも伝え、職員の法令遵守の意識の醸成・向上を図った。 年末年始等の長期休暇前には、休暇中の法令遵守（飲酒運転根絶等）について注意喚起を行った。
個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	職員の意識啓発を行い、情報の管理方法を確認することにより、情報の紛失、漏洩等を未然防止する。	<p>【目標の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人情報（講師、行事参加者名簿等）は、適切に保管、利用された。 <p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場研修等を通じて、個人情報については施錠してキャビネットに保管し、使用時に開錠・施錠するルールを伝え、全職員によりルールが厳守された。 電子メールを送信する際に、アドレスやBCC欄の使用について複数の職員で確認を行った。 F A Xによる資料の送信や個人情報の廃棄の際は、複数人で行うなどのルールが厳守された。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	職員間の相互チェック体制や業務協力体制を確立し、適切な業務体制を図る。	<p>【目標の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文書承認の際、相互にチェックをする意識が浸透した。また、職員間で情報を共有する意識も根づいた。 <p>【実施結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員に承認にあたっては、担当者という意識をもって承認し、相互チェックをするよう周知した。 朝礼時に各自の業務状況を報告し合うことで、互いに協力しやすい体制づくりを行った。

○ 令和5年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和6年度に取り組むべき課題（所属長意見）

- 令和5年度においては、日常業務を通じた指導や職場研修を通じて所属の不祥事ゼロプログラムを周知徹底し、目標を達成することができた。
- 令和6年度においては、引き続き、法令遵守の意識の醸成・向上を図り、個人情報の管理を徹底すると共に、ハラスメントを防止し、コミュニケーションを促進させることで風通しの良い職場づくりに取り組むこととする。